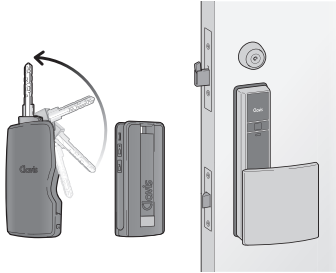


電気錠システム

電池錠システム

Tebra plug / Tebra cell

クイックスタートガイド



- 電気錠システム
 - Tebra plug
- 電池錠システム
 - Tebra cell

※ お客様のご住居に設定されている電気錠・電池錠システムおよびオプションの種類です。該当する部分のみ、お読みください。

■オプション：警備連動機能

※ Tebra plug には、警備連動機能が設定された仕様もございます。製品仕様については、本書末尾の保証書に記載のサービス代行店へご確認ください。

保存版

- このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- 製品を末永く安全にお使いいただくために、WEB 取扱説明書「お使いになる前に」をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

WEB の取扱説明書はこちらをご確認ください。



この度は当社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。本保証書は、品質保証事項に記載の規定によりです。保証期間内に故障した場合は下記取扱店に修理をご依頼下さい。尚、修理の際には本書をご提示下さい。

品質保証事項

- 保証内容：通常の取り扱いによって生じる品質不良、性能及び機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの
- 保証期間：製品のお買い上げ日より 2 年間
 - お買い上げ日を本書にご記入ください。
 - サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類などを大切に保管してください。サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類が無い場合は、勝手ではありますが、当社商品に記載している年月を保証開始時期の目安とさせていただきます。
- 免責事項：原因が次の様な場合は保証期間内であっても有償修理となります。また、遠隔地及び離島・山頂等の地域への出張によって修理・交換を行った場合には、出張に要する実費を申し受けれます。
 - 商品の提示がない場合
 - ご使用開始以前の保管・輸送・設置配線工事に起因する故障、および損傷
 - 他の機器からの異常電圧・電流を受けたことによる故障、および損傷
 - 電池の入れ間違い等ご使用上の間違いや破損
 - 電池の交換
 - コピーしたキーに起因する不具合
 - 使用者もしくは第三者の誤り、または不当な修理や改造によるもの
 - 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法をされた場合の不具合
 - 錠以外の商品または部品（扉、ドア、ドアコーザなど）に起因する錠の不具合
 - 商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、磨耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）またはこれらに伴うさび、その他の不具合
 - 錠穴への異物（例えば、錠金、マッチ棒など）挿入、注油、昆虫の侵入、ほこりによる不具合
 - 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合（例えば塩害による腐食、大気中の砂塵、煤塵、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
 - 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など）に起因する不具合
 - 犯罪などの不法な行為（ピッキング、パールの道具によるこじ開けなど）に起因する破損や不具合
- 電気錠耐用年数：引き渡し後あるいは購入後より 7 年間
 - 耐用年数とは、製品の基本性能を保守・点検により維持できる取り替えまでの目安の期間として日本ロック工業会が定めたもので、製品の保証（無償修理）期間とは異なります。
 - お買い上げ日を本書にご記入の上、領収書などお買い上げ日が分かる書類を保管ください

上記品質保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan

消耗品（電池等）は保証対象外となります。

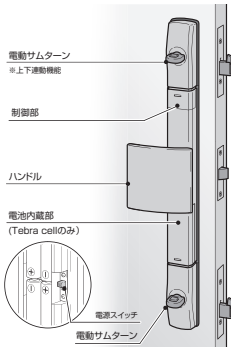
- ※ 本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、取扱店へお問合せ下さい。
- ※ 本書は再発行致しませんので、全てご記入のうえ大切に保管して下さい。

サービス代行店名・住所・電話番号	お買い上げ日 年 月 日
	保証期間 お買い上げ日より 2 年間

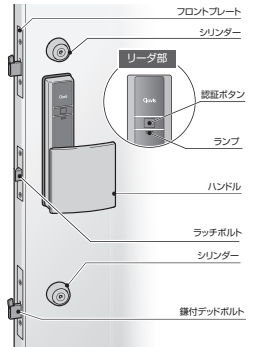
株式会社シブタニ クラビス事業部

各部の名称

ドアまわり部品（室内側）



ドアまわり部品（室外側）



※：本体の電池交換をする際は、一度ドアノブなどの金属物を触り体内の静電気を逃がしてから行ってください。

認証キー

ハンズフリーキー / 非接触キー

Tebra キー, Tebra one キー / Tebra タグ, Tebra one タグ / TF カード / TL カード

アナログキー / 鍵操作ボタン / 動作確認ランプ / 施錠ボタン / 解錠ボタン

キー※ / 操作電源盤（オプション） / Tebra plug

電源表示ランプ / 開扉中表示 / 施錠ボタン / 解錠ボタン

※：電氣的な操作はできません。

ハンズフリーキーについて

ハンズフリー操作

ハンズフリーキーがリーダ部の作動範囲内※にあれば、ハンズフリーキーをカバンなどに入れたままでリーダ部の認証ボタンを押すだけで施錠/解錠ができます。

ハンズフリーキーを持ったままリーダ部の作動範囲内※に入り、リーダ部の認証ボタンを押します。

- ハンズフリーキーの揺れを検知していないとロックを施錠/解錠することはできません。ロックの施錠/解錠ができないときは、ハンズフリーキーを少し揺らしながらロックを施錠/解錠してください。

※：作動範囲は設置環境によって異なります。



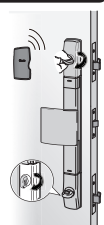
ハンズフリーキーのスリープ機能

ハンズフリーキーを 6 秒以上、静止状態で保持すると、電池の消耗を防ぐためにスリープ機能が働きます。

- スリープ機能が働いたハンズフリーキーは、作動範囲内であってもハンズフリー操作ができなくなります。

解錠アシスト機能

施錠状態時、ハンズフリーキーを保持したまま室内側から上側のロックをサムターンで手動解錠すると、下側のロックも連動し解錠されます。



スリープ機能の解除

ハンズフリーキーを少し揺らしてください。



- 次の場合は、連動して解錠されません。
- 下側のロックを、サムターンで手動解錠した場合
 - 下側のロックが、すでに解錠状態の場合
 - 停電時
 - ハンズフリーキーの電池切れ時
 - 施錠解錠操作を素早く繰り返すと、連動して解錠されない場合があります。間隔をあけてから、操作してください。

ハンズフリー操作

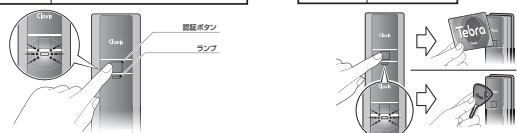
- ハンズフリーキーを持ったままリーダ部の作動範囲内に入ります。
- リーダ部の認証ボタンを押します。

タッチ操作

- リーダ部の認証ボタンを押し、非接触キーの認証範囲とリーダ部の「[Clavis]」マークを目安に合わせてかざします。位置がずれ過ぎると認証されず、施錠/解錠ができません。

動作状況	ランプ（本体電池少「Tebra cell」）
解錠	赤色点灯（1.5 秒）（橙色点滅（3 回））
施錠	緑色点灯（1.5 秒）（橙色点滅（3 回））

動作状況	ランプ
解錠	赤色点灯（1.5 秒）
施錠	緑色点灯（1.5 秒）



認証キーの抹消方法

この製品は、複数（※1 最大 16 個）の ID 媒体（認証キー）を登録できます。ご使用前に認証キーの再登録をおすすめします。

新たに認証キーを追加購入した場合は、登録が必要です。

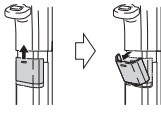
その際、既に登録してある ID 情報の抹消が必要です。

※1：ただし、ハンズフリーキーおよび非接触キーは、各最大 8 個までです。

認証キーの ID 情報の抹消

1 以下の物をお手元にご用意ください。

- 今までお使いの認証キー
- 新規に登録したい認証キー



2 室内側から制御部カバーを取りはずします。

カバーを上へスライドさせ、手前へずらします。

3 ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。

※：ロックを解錠していない状態では、抹消作業は行えません。

4 制御部の登録ボタンを 2 秒以上押し続け、ID 登録・抹消モードにします。

- ID 登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。
- ID 登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。



5 リーダ部の認証ボタンを 2 秒以上、押し続けます。

“ピッ・ピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。すべての ID 情報が抹消されます。（ブザーが鳴る前にボタン操作を中断すると、ID 情報が抹消されません）



6 制御部の登録ボタンを押し、ID 登録・抹消モードを終了します。

- ・ “ピッ”とブザーが鳴り、ID 登録・抹消モードが終了します。
- ・ 15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に ID 登録・抹消モードが終了します。
- ID 情報が抹消された認証キーは、そのままでは使用できません。すぐに再登録を行ってください。（4～5 ページ）

認証キーの登録方法

認証キーの ID 情報の登録

1 制御部の登録ボタンを 2 秒以上押し続け、ID 登録・抹消モードにします。

ロック解錠かつドアを開けた状態で行ってください。（3 ページ）

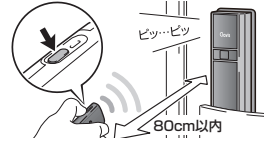
2 認証キーの登録をします。

ハンズフリーキー（登録可能 ID キー数：最大 8 個）

Tebra cell、Tebra plug の場合は、最初にハンズフリーキーに内蔵された IC チップを、非接触キーと同様の方法（下記参照）で登録・動作確認を行ってください。

リーダ部の登録検知範囲内（約 80cm 以内）で、登録するハンズフリーキーの施錠ボタンを 2 秒以上、押し続けます。

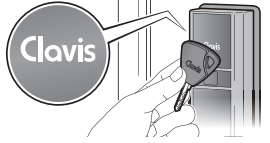
- ・ “ピッ…ピッ”とブザー※が鳴るまでハンズフリーキーを登録検知範囲外に出さないでください。
- ・ 登録作業は、リーダに正対した状態で行ってください。
- ・ 施錠ボタンを押したハンズフリーキーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前にハンズフリーキーを登録検知範囲外に持ち出すと、認証されません）



非接触キー（登録可能 ID キー数：最大 8 個）

リーダ部の「Clavis」マークに、登録する非接触キーを 2 秒以上、かざし続けます。

- ・ “ピッ…ピッ”とブザー※が鳴るまで非接触キーを「Clavis」マークから約 1cm 以上、離さないでください。
- ・ かざした非接触キーのみ登録されます。（ブザーが鳴る前に非接触キーを「Clavis」マークから離すと、認証されません）



※：登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。次ページの表をご参照ください。

3 すべての認証キーに対して 2 の操作を行います。

ロック解錠かつドアを開けた状態で、すべてのハンズフリーキーおよび非接触キーの登録を完了させてください。

ハンズフリーキーの電池交換／カラーチップの取り付け

キーの判別のため、購入した際に付属のカラーチップを取り付けてください。（Tebra キー / Tebra one キーのみ）

電池が消耗してくると、電池切れ警告が現れます。その場合は速やかに電池を交換してください。

使用電池：コイン型リチウム電池 CR2032

電池はカメラ店、家電販売店などお買い求めになります。

電池交換のしかた

取りはずした部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

1 一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。

2 表面のネジを取りはずし、カバーを取りはずします。

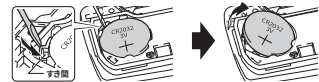
ドライバーはホームセンターなどお買い求めになります。

Tebra キー / Tebra one キー 0番プラスドライバー
Tebra タグ / Tebra one タグ 1番プラスドライバー



溝部にコインなどを差し込み取りはずす

3 ドライバーなどをすき間に差し込み、起こすようにして古い電池を取りはずします。



4 新しい電池を差し入れ、動作確認をします。

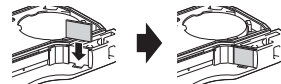
(+) が上になるように取り付けます。



5 お好きな色の付属のカラーチップを台紙から取りはずし、スライドしてはめ込みます。

（Tebra キー / Tebra one キーのみ）

カラーチップの印刷面をこすると、印刷がはがれる恐れがあります。ご注意ください。



6 カバーを元にもどし、ネジを締め込みます。

Tebra キー / Tebra one キー ツメを差し込み、浮いている側を本体に行けツメに音がするまではめ込む

Tebra タグ / Tebra one タグ ツメを合わせて閉める



動作状況	ランプ	ブザー	
ID 登録・抹消モード中	赤色点滅	—	
ハンズフリーキー 認証時	最初のブザーが 鳴ってから 2 秒後に 緑色点灯 (1.5 秒)	1ID	ピッ…ピッ
		2ID	ピッ…ピッピッ
		3ID	ピッ…ピッピッピッ
		4ID	ピッ…ピッピッピッピッ
		5ID	ピッ…ピー
		6ID	ピッ…ピーピッ
		7ID	ピッ…ピーピッピッ
		8ID	ピッ…ピーピッピッピッ
非接触キー 認証時		ピッピッ…***※1	
認証異常	赤色点滅 (3 回)	ピー	
登録件数エラー (8 ID 登録済み)	赤色・緑色が交互に点滅 (3 回)	ピー---	

※1：非接触キーの場合は登録件数により「***」の部分が異なりますが、本表では省略させていただきます。

認証キーの ID 情報の登録確認

1 制御部の登録ボタンを押し、ID 登録・抹消モードを終了します。

- ・ “ピッ”とブザーが鳴り、ID 登録・抹消モードが終了します。
- ・ 15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に ID 登録・抹消モードが終了します。

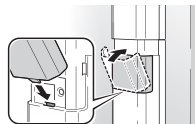
動作状況	ランプ	ブザー
ID 登録・抹消モード終了	—	ピッ

2 ID 情報を登録したすべての認証キーで施錠／解錠操作を行い、正常に動作することを確認します。（2 ページ）

確認する認証キー以外は作動範囲内（リーダ部から 2m 以内）に置かないでください。作動範囲内に複数の認証キーがある場合、確実な登録確認が行えません。

3 カバーを元にもどします。

ツメを差し込み、浮いている側を本体に「パチン」と音がするまではめこみます。



エントランスも認証キーで開閉できる物件にお住まいのお客様へ

認証キーの再登録を行った場合、エントランスなど共用部制御盤に登録されている情報も更新が必要となる場合があります。（エントランス用制御盤への再登録は、弊社サービス代行店までご連絡ください。）